財産目録

令和 3年 3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産）				
	現金	手元保管	運転資金として	2,471,976
	普通預金 中国銀行岡南支店 他22件			242,337,353
	定期預金 中国銀行岡南支店1件		運転資金として	50,000,000
	棚卸資産		販売物品の在庫である。	585,647
	未収入金		公益目的事業・収益事業等会計の収益である。	82,933,634
	前払費用		施設賠償保険料の翌年度分経費である。	991,180
流動資産合計				379,319,790
（固定資産）				
基本財産				
	基本財産引当定期預金 中国銀行岡南支店1件		管理目的の業務に使用する財産であり、運用益を事業の財源として使用している。	410
	投資有価証券 岡三証券㈱岡山支店		管理目的の業務に使用する財産及び公益目的保有財産であり、運用益をそれぞれ事業の財源、民有地用の緑化事業の財源として使用している。	41,549,895
	SMBC日興ｺｰﾃﾞｨｱﾙ証券 岡山支店			206,440,967
	三菱UFJﾓﾙｶﾞﾝ・ｽﾀﾝﾚｰ 証券岡山支店			36,088,687
	みずほ証券岡山支店			67,942,791
	大和証券岡山支店			68,294,730
	緑化基金引当定期預金 中国銀行岡南支店1件		公益目的保有財産であり、運用益を民有地等の緑化事業の財源として使用している	778,260
特定資産				
	退職給付引当定期預金 中国銀行岡南支店2件		職員の退職金として管理している財源である。	116,847,420
	退職給付引当預金 中国銀行岡南支店1件		職員の退職金として管理している財源である。	2,116,230
	減価引当定期預金 中国銀行岡南支店3件		協会が取得した固定資産買換の取得財源の一部として管理している財源である。	33,307,710
その他固定資産				
	建物		公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	2,628,413
	建物附属設備		公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	590,000
	車両運搬具		公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	34,605,373
	什器備品		公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	38,914,083
	減価償却累計額			△ 71,919,252
	電話加入権		公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	322,400
	ソフトウェア		公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	1,708,368
	預託金		公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	169,034
固定資産合計				580,385,519
資産合計				959,705,309

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　　額
(流動負債)				
	未払金		公益目的事業、収益事業等の債務未払分である。	137,758,049
	未払費用	役職員等	公益目的事業、収益事業等の債務未払分及び3月退職者の退職手当金債務である。	24,608,146
	前受金		公益目的事業、収益事業等の業務に使用する翌事業年度の施設利用料等である。	3,091,765
	預り金	役職員等	源泉所得税、住民税等	999,113
	賞与引当金	職員分	公益目的事業、収益事業等の業務に従事する職員の令和３年６月支給の賞与引当金である。	27,693,000
	未払法人税等			1,001,500
	未払消費税等			7,711,400
流動負債合計				202,862,973
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員分	公益目的事業、収益事業等の業務に従事する職員の退職給付金の引当金である。	100,687,650
固定負債合計				100,687,650
負債合計				303,550,623
正味財産				656,154,686

財務諸表に対する注記

1．重要な会計方針

重要な会計方針は次のとおりである。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

債券…移動平均法による原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産…最終仕入原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物，建物附属設備，ソフトウエア…定額法

車両運搬具，什器備品…定率法

ただし、期中の取得価額10万円以上30万円未満の少額減価償却資産の合計額が300万円に達するまでは一括償却300万円を超えるものは取得価額10万円以上20万円未満の少額減価償却資産は、3年均等償却

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務(自己都合要支給額)に基づき計上している。

賞与引当金…職員の賞与の支給に備えるため、当事業年度に対応する支給見込み額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっている。

2．会計方針の変更

記載すべき事項はありません。

3．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	内　　容	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	法人会計				
	基本財産引当定期預金	410	0	0	410
	投資有価証券	113,999,590	0	0	113,999,590
	公益目的事業1会計				
	投資有価証券	306,317,480	0	0	306,317,480
	緑化基金引当定期預金	608,016	170,244	0	778,260
	小　　計	420,925,496	170,244	0	421,095,740
特定資産	退職給付引当資産	124,636,420	0	5,672,770	118,963,650
	減価償却引当資産	37,707,710		4,400,000	33,307,710
	小　　計	162,344,130	0	10,072,770	152,271,360
合　　計		583,269,626	170,244	10,072,770	573,367,100

4．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	内　　容	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産	法人会計				
	基本財産引当定期預金	410	(205)	(205)	－
	投資有価証券	113,999,590	(56,999,795)	(56,999,795)	－
	公益目的事業1会計				
	投資有価証券	306,317,480	(306,317,480)	(0)	－
	緑化基金引当定期預金	778,260	(778,260)	(0)	－
	小　　計	421,095,740	(364,095,740)	(57,000,000)	－
特定資産	退職給付引当資産	118,963,650	(0)	(0)	(118,963,650)
	減価償却引当資産	33,307,710	(0)	(33,307,710)	(0)
	小　　計	152,271,360	(0)	(33,307,710)	(118,963,650)
合　　計		573,367,100	(364,095,740)	(90,307,710)	(118,963,650)

（記載上の留意事項）

基金からの充当額がある場合には、財源の内訳として記載するものとする。

5．担保に供している資産
該当ありません。

6．固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりで

（単位：円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建　物	2,628,413	2,628,412	1
建物附属設備	590,000	535,083	54,917
什器備品	38,914,083	37,840,526	1,073,557
車両運搬具	34,605,373	30,915,231	3,690,142
合　　計	76,737,869	71,919,252	4,818,617

7．債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当ありません。

8．保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務
該当ありません。

9．満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

（単位：円）

種類及び銘柄	帳簿価額	時　価	評価損益
国　　債	420,317,070	485,769,160	65,452,090
合　　計	420,317,070	485,769,160	65,452,090

9．補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当ありません。

10．基金及び代替基金の増減額及びその残高
基金及び代替基金の増減額及びその残高、次のとおりである。

（単位：円）

科　目	内　　容	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金	公益目的事業1会計 緑化基金引当定期預金	608,016	170,244		778,260
合　　計		608,016	170,244	0	778,260

11．指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当ありません。

12．関連当事者との取引の内容
該当ありません。

13．キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引
該当ありません。

14．重要な後発事象
該当ありません。

15．その他
（1）退職給付関係
退職給付債務を計上しているほか、平成30年度より中小企業退職金共済制度に加入し、該当者分を中退共へ積立てている。

退職給付債務及びその内訳　　（単位：円）

内　　容	当期末残高
退職給付債務	118,963,650
退職給付引当金	100,687,650
未払費用（3月退職者分）	18,276,000

監　査　報　告　書

公益財団法人　岡山市公園協会
理事長　　古橋　季良　様

私たち監事は、令和２年４月１日から令和３年３月３１日までの事業年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき次のとおり報告いたします。

１　監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

２　監査意見書

（１）事業報告等の監査結果

①　事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②　理事の職務の執行に関する不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（２）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和３年６月３日

公益財団法人岡山市公園協会

監　事　　福　原　一　義　㊞

監　事　　横　山　純　子　㊞